

平成18年度 決算報告書

国立大学法人大阪教育大学

(単位:百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	6,618	6,618	0	
施設整備費補助金	116	115	△ 1	(注1)
補助金等収入	—	45	45	(注2)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	33	33	0	
自己収入	3,057	2,741	△ 316	
授業料、入学料及び検定料収入	2,992	2,664	△ 328	(注3)
雑収入	65	77	12	(注4)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	173	188	15	(注5)
承継剰余金	—	5	5	(注6)
目的積立金取崩	120	120		
計	10,117	9,865	△ 252	
支出				
業務費	8,642	8,383	△ 259	(注7)
教育研究経費	8,642	8,383	△ 259	
一般管理費	1,153	945	△ 208	
施設整備費	149	148	△ 1	(注8)
補助金等	—	45	45	(注9)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	173	173	0	
承継剰余金	—	5	5	(注10)
計	10,117	9,699	△ 418	
収入-支出	0	166	166	

○予算と決算の差異について

(注1) 施設整備費補助金については、予算額決定後に交付額の変更があったため、予算額に比して決算額が1百万円少額となっております。

(注2) 補助金等収入については、申請中の事業が交付決定されたため、予算額に比して決算額が45百万円多額となっております。

(注3) 授業料、入学料及び検定料収入については、平成18年度入学者に係る授業料の前納を行わないこととしたため、予算額に比して決算金額が328百万円少額となっております。

(注4) 雑収入については、主として財産貸付料の増加等により、予算金額に比して決算金額が12百万円多額となっております。

(注5) 予算段階では予定していなかった国の各組織、特殊法人及び民間からの受託研究及び寄附金の獲得に努めたため、予算金額に比して15百万円決算金額が多額となっております。

(注6) 予算段階では予定していなかった損害賠償費用が発生したため、予算金額に比して5百万円決算金額が多額となっております。

(注7) 業務費については、教育研究経費、一般管理費において経費の節減に努めたため、予算金額に比して決算金額が467百万円少額となっております。

(注8) (注1)に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が1百万円少額となっております。

(注9) (注2)に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が45百万円多額となっております。

(注10) (注6)に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が5百万円多額となっております。